



南条つ子

南条小学校だより

南条っ子は 進んで学ぶ子

H30.12.3

No. 48

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ 1年生 ブックトーク

11月29日(木)に、南条図書館の司書さんに来ていただき、ブックトークを行いました。「もうすぐゆきがふる」というテーマでおすすめの本を紹介してくださいました。司書さんに読み聞かせも行ってもらい話を真剣に聴いていました。冬や雪に関する絵本も持ってきていただき、ブックトーク終了後には、早速手に取って読んでいる子どもたちもいました。



ゆきのひ

出版社: 偕成社、エズラ・ジャック・キーツ / 作、絵
雪がつもった朝、ピーターは外へ飛びだした。雪で遊んだ一日の、新鮮な感動と素朴な喜びを貼り絵で描いた、心に余韻の残る絵本。
『偕成社 HP より』



だれの あしあと?

出版社: 福音館書店、八百板洋子 / 文、かつやかおり / 絵
雪だるまにのせたりんごが、だれかにかじられていました。雪の上には足跡がついています。「だれが来たのかしら?」女の子が足跡をたどって行くと、足跡は林まで続いていました。夜になって月が雪原を照らす頃、林の中から白いノウサギが出てきました。なぞの足跡は、ノウサギのものだったのです。ノウサギは、女の子の足跡のとなりにまた新しい足跡をつけながら雪原を渡っていきました。
『福音館書店 HP より』



だれのあしあと

出版社: 新風舎、ふくだとしお / 作
ゆきがたくさん降り積もったある日。ねずみくんがはしゃいでお外へ飛び出します。ふと下を見ると、ゆきの上に誰かの足跡が。「だれのあしあと?」足跡をたどっていくと、きつねさんがいました。いろんな足跡をたどっていく繰り返しの絵本。
『AmazonHP より』



あしあと

出版社: ポプラ社、まつおか たつひで / 作・絵
「だれのあしあと?」ページに続く足跡をたどってページをめくると動物たちがあらわれます。
『ポプラ社 HP より』



冬ってわくわくするねーネズミさんとモグラくん

出版社: 小峰書店、ウォン・ハーバート・イー / 作
ネズミさんとモグラくんの森に大雪が降りました。そりすべりや雪だるまづくりなど、いろんな雪あそびができます。でも、モグラくんは、寒くて外に出たくないみたい。そこで、ネズミさんは雪モグラくんと遊ぶことにしますが…。
『「TRC MARC」の商品解説より』



ぐりとぐらのおきやくさま

出版社: 福音館書店、中川李枝子 / 作、山脇百合子 / 絵
森で雪合戦をしていたぐりとぐらは、雪の上に大きな足跡を見つけました。足跡は森をぬけ、原っぱを通り、ぐりとぐらの家まで続いていました。ドアを開けると玄関には大きな長靴、壁には真っ赤なオーバーと白いマフラー、そして赤い帽子がかかっています。いったいだれ? そのときいい匂いがしてきたので、台所に行ってみると、そこには真っ白なひげのおじいさんが焼きたてのケーキを作って、待っていました。
『福音館書店 HP より』

○ 5年生 校外学習 (ふれあい文化子どもスクール)



11月29日(木)、県の事業「ふれあい文化子どもスクール」で、ハーモニーホールと県立美術館へ行ってきました。

ハーモニーホールでは、1階の最前列で、楽器の大きさや音の迫力を間近で感じるとともに、演奏者の手の動きや表情などをしっかり見る事ができました。プログラム内容は、オーケストラの演奏、楽器紹介、福井県出身の音楽家のソロ演奏などでした。オーケストラの生演奏を初めて聞く児童も多く、とても感動していました。

県立美術館では、「抽斗の中の波と猫」と「落葉」の作品の前で感じたことを発表した後、作品について解説を聴きました。その後館内を自由に見て回り、普段見ることのない大きな絵画や屏風などたくさんの作品を鑑賞しました。

どちらの会場でも、日常では経験することのできない充実した楽しい時間を過ごすことができました。